

ボランティア2年生♪

TADERにはじめて参加してから、1年以上が経ちました。アニマルセラピーに関心があり、自分も乗馬をするので、「障がい者乗馬ってどんなものなのだろう？」とちょっとした興味ではじめたのですが、今ではすっかりハマってしまい、皆勤賞で参加しています。

障がい者乗馬って素晴らしいですね。障がいと言っても人それぞれですが、個々人に合わせた楽しみ方ができることが魅力だと思います。そしてただ楽しむだけでなく、みんなが自身のペースで上達しています。

印象的な出来事は、以前は途中で飽きてしまっていた子が、15分間ずっと集中し、さらに馬に「がんばって」と話しかけたり、愛撫したりとコミュニケーションをとりながら乗馬するようになったことです。感動でした。

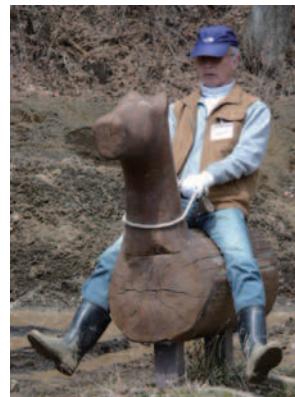
このような感動が毎回あり、ボランティアと言いながら、いつも自分が貢献した以上のものをもらっていると感じます。これからも楽しい乗馬会で笑顔を共有していきたいです。

左サイド修行中！！：山西奈央美



赤字会計からの脱出報告（新人会計奮闘記）

2010年最後の木曾馬乗馬会で会計担当が入院の為に後を引継ぐ様、渡辺会長から無理やり押付けられ初めて出席した翌年の総会で知った毎年の赤字会計。このままでは会の存続が危ないと皆で赤字解消への知恵を絞った結果、全国大会への不参加（渡辺会長が最後まで抵抗）など幾つかの施策が決定され、他にも次の様な改善を努力した結果、お陰様で僅かながら平成23年度は約15万円の黒字にする事が出来ました。（H22年度は▲32万円）



- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. TADERとして全国大会への不参加。 | 約24万円 |
| 2. 参加費・引き馬料金の値上げ。 | 約6万円 |
| 3. 会費・登録料などの払い込み促進。 | 約14万円 |
| 4. 東京都助成金の申請前倒し。 | 約14万円 |
| 5. 事務費の削減。 | 約5万円 |

そして平成24年度は皆様の努力に加え、幾つかの企業・団体から助成金を頂く事になり全国大会にも参加出来、現状では本年度の会計も黒字で締められる見込みとなりました。これからも更なる努力が必要です、皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

最年長ボランティア：内藤東輝夫

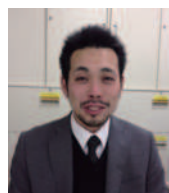
🐎 TADER はたくさんの方に支えられて活動しています 🐎

○紅葉台木曾馬牧場

富士山のふもとで、森林浴しながら馬に乗れます。初めての人は引き馬で、一人で乗れる人はガンガン駆歩で走ったりと、それぞれのレベルに合わせて内容がチョイスできます。希望があれば流滴馬も出来ます。

URL: <http://www.geocities.jp/kouyoudaikisoumabokujou/>

TEL: 0555-85-3181



○協力印刷会社及び担当者：プリント・アイ（東京都荒川区）

今回も騎楽発行にあたり、多大なご協力をいただいております。親切丁寧なご対応と、確かな技術力を誇る印刷会社様です。

←営業担当：田島幹也様 URL: <http://www.printeye.co.jp>

【騎楽編集担当】元橋・中野・山西

きらく 騎楽

騎楽 きらく No.37号
東京障害者乗馬協会機関紙
(日本障害者乗馬協会加盟)

発行：東京障害者乗馬協会騎楽編集部
〒189-0023
東京都東村山市美住町2-8-47
TEL/FAX: 042-315-4729
(担当 渡辺)



2013年1月発行

渡辺会長 挨拶

あけましておめでとうございます。久しぶりの「騎楽」の発刊となりました。新体制で船出して2年目となるTADERは皆様のご協力のお陰で、順調に安定した活動を終えることができました。



昨年は個人参加だった全国大会には2年ぶりにTADERとして参加し、2名の選手が9名の精鋭ボランティアと共に、立派な成績を残すことができました。

また、TADER史上第2回目の運動会を開催しました。雪が降り、寒さに耐える中ではありましたが、選手とボランティアの皆さんは共にとても楽しい一時を過ごすことができたことでしょうか。顧問であり会員でもある北澤さんにはこの運動会に対して貴重な援助をいただき感謝しております。

平成25年度も楽しく安全な乗馬会を目指し、気持ちを一つにし、邁進して行きたいと思っております。ご協力の程、よろしくお願い致します。

会長：渡辺廣人



🐎 ブログで活動報告しています！

TADERのタイムリーな情報や、紅葉台木曾馬牧場ニュース、馬に関する話など伝えておりますので、ぜひご覧下さい。



URL: <http://tader.seesaa.net/>



2012年 全国大会報告記

三木ホースランドパークで3年ぶりに開かれた全国大会に参加しました。

昨年はツッチー一族と会長御夫妻だけでの参加だったので寂しかったのですが、今年は紅葉台のお馬さん、多くのボランティアと、見学メンバーの参加で盛り上がった大会でした。

育宏は、今年も初級馬場馬術常歩へエントリー、1人で小鹿毛をコントロール、シゲリンが側に付かず、離れて指示することで、今までと違った形となりました。

結果は全体で2位、知的部門で1位になりました。皆様のご協力、取ることが出来て、審判の方から、「すばらしい一言！！」のコメントもいただき、大感激でした。

大会の後は、奈良へ足を延ばして、大人の修学旅行！！育宏は初めてでしたが、大きな仏像を見つめていました。電車での移動は大好きなので楽しそうでした。見学で参加した方も、来年は是非エントリーして下さいね！！



つっちーとその一族：土屋佳子



■初級馬場 常歩

1位 土屋育宏&小鹿毛 73.571%

■DRESSAGE 規定課目チャンピオンシップテスト【グレードIa】

2位 細川裕史&暁 59.417%

2012 TADER運動会・今年も最後！楽しもうTADERを開催して！

12月2日の乗馬会はイベントを開催、日々の活動で重要なレベルアップメニューと参加者の思い出となるものを計画。さて、参加した皆さんの感想はどうだったでしょうか？

障害者乗馬での重要なことはいろいろありますが、馬を知ること、障害者との接し方、馬の装備（馬装）などの準備ができること、危険回避の方法を得ることなどあり、特にスポーツの中でも動物を扱うため、予想ができない危険なスポーツです。

しかし、基本と油断せず、集中することを理解すればアクシデントの回避ができます。

ですから、障害者のみでなくヘルパーの練習や知識も重要なことです。

今回は、リーダーやサイドウォーカーを担当したときに巻乗りの大きさなどの正確さ、歩度の変化など、ヘルパー時と鞍上での違いを発見すること。その点を体感で理解するため、部班をおこない、さらに、障害者とヘルパーと一緒にゲーム感覚で技術力を高めるジムカーナを楽しみました。

12月2日は雪が舞い、身体の内まで凍りそうな中、午前中はいつもの乗馬会で午後から3種目を計画していましたが、寒さが厳しいので部班練習とジムカーナの2種目を実施。



始まりの選手宣誓は田村さん、なつみさん、晋河君が担当、会長も小雪が降る寒い中、体中から絞りだして部班の号令をかけ、ジムカーナでは障害者とヘルパーが一緒になって、団体戦によるタイムレースでチームメイトの応援合戦。参加者から今後も楽しむ会をしたいとか、部班で技術を磨きたいとの感想もあり、立案者の一人として、大変嬉しく、疲れが吹っ飛びました。

表彰式に景品と参加賞配布時の皆さん嬉しそうだったのが印象的でした。

新人育成に燃える：遠藤啓二

東京馬術大会参戦記

僕がTADERに入る前年くらいに、第5回全国障害者交流乗馬大会(今で言う、全国障害者馬術大会)というものが馬事公苑で行われたそうです。馬事公苑で馬に乗り損ねたなあー、いつか僕も馬事公苑で馬に乗りたいなあー、という思いはずっとありました。だから、こういうチャンスが出てきましたので、迷うこと無く出場させてもらいました！



去年は小鹿毛も僕も馬事公苑という舞台を味方にし切れず、停止はダメでも常歩は日頃より良かったね…という希望と課題の明暗クッキリな演技が出来。今年は今で、その希望を残したまま課題もなんとなくクリア出来たかな(?)…という感じで、今までの最高ポイントが残せたのも、いつも馬を貸して下さる紅葉台木曾馬牧場とTADERの皆さまのおかげです。そして何より、小鹿毛がリタイアする前に1つの目標値だった65%を引き出したことにホッとしています。本当はこの程度ならデキる子だったのに、今まで時間かかってゴメンね。

でも、今年の全国障害者馬術大会など見てると、トップ連中は70%超えが当たり前前の雰囲気であり…ここで満足してちゃダメなんですがね^^;

ライダー：細川裕史

パラ馬術チャンピオンシップテスト【グレードIa】

細川裕史&小鹿毛 65.750%



世田谷乗馬会について

世田谷乗馬会を始めたのは2000年でした。目的は3つありました。1つ目は都内で乗馬会を開くことにより、ライダーもボラも参加しやすい環境を作り、新規参加者を増やすこと、2つ目は公園で障害者乗馬を行うことで多くの一般の方に雄姿を見て頂き、その普及啓蒙活動の一環とすることでした。そして3つ目は公園に遊びに来ている子供に対して引き馬をして、馬と触れ合う機会を提供することでした。

場所は事務局があった世田谷区にしようということになり、世田谷区役所に相談に伺った所、丁寧な対応をして頂きトントン拍子に話が進んで、世田谷公園で開催できることになりました。実際に乗馬会を開いて、多くの新しい参加者が来て、世田谷乗馬会をきっかけに会員になった方もいますし、引き馬も天気が良ければ200人くらい乗って楽しんで頂け、良い成果が上がりました。

ただ、失敗したこともあって、ちょうどお花見シーズンと乗馬会が重なった時でした。朝行くと、乗馬会場の真ん中に前夜から花見をして出来上がっているグループがテーブルを広げて盛り上がっていました。馬場を確保するために、何とか移動して頂きましたが、陰湿な雰囲気は漂っていました。しかし、時間が経つに連れ活動を理解いただいたのか、グループは穏やかになり、午後には引き馬に乗って、喜んで帰って行かれました。この時ほど馬の力は偉大だなと思ったことはありません。(笑)



今年で14年目になる世田谷乗馬会、更なる発展を遂げられるよう頑張りましょう。

副会長：新井文吾